



アクセシビリティ

- 概要、1 ページ
- Cisco Unity Connection Administration のショートカットキー、1 ページ
- 他の Unity Connection 機能、4 ページ

概要

Cisco Unity Connection では、さまざまなショートカットキーと機能を使用して Cisco Unity Connection Administration や Web Inbox などの Web アプリケーションに簡単にアクセスできます。

Cisco Unity Connection Administration のショートカットキー

ここでは、Cisco Unity Connection Administration のショートカットキーの使用方法の詳細について説明します。

- 管理者は、TAB キーを使用してすべてのリンク、すべてのフォームフィールド、およびウィジェットを順に移動できます。ログイン後、管理者が最初に TAB キーを押すと、[Cisco Unity Connection] というラベルのツリーの頂点にフォーカスが移ります。TAB キーをさらに押すことで、管理者はすべてのリンク、すべてのフォームフィールド、およびウィジェットを移動できます。
- ツリー リンクに対応するページに移動するには、任意の時点で管理者が TAB キーを使ってリンクを選択した後、ENTER キーを押します。
- フォーカスがページのフレームに移動した後に TAB キーを押すと、そのページのすべての影像広告に移動できます。
- 管理者は、Ctrl+Alt+t キーを押すことで、どのページ/フォームからでもツリーのトップに移動できます。このショートカットキーによりフォーカスがツリー頂点のラベル [Cisco Unity

Connection] に移動し、そこから TAB キーを使用してツリーのすべてのリンクに移動できます。

- ショートカット Ctrl+Alt+tにより、ツリーやページのどこからでもツリーのラベル[Cisco Unity Connection] にフォーカスが移動します。
- これらのショートカットキーは Windows および MAC オペレーティングシステムで動作します。

項目	Internet Explorer	Mozilla Firefox	Safari/Chrome	使用方法
Unity Connection Administration でのリンク、フォームフィールドおよびウィジェットの正順移動	TAB	TAB 注：MAC では、TAB キーによるハイパーアリンクができません。動作させるためには、管理者が Mac で TAB キーによるハイパーアリンクへのナビゲーションを有効にする 、(4 ページ) の項で指定されている Firefox の設定を変更する必要があります。	TAB	TAB キーは、すべてのリンク、すべてのフォームフィールド、およびウィジェットを順に移動するために使用されます。オプションボタンを選択または選択解除するには、矢印キーを使用します。
[Connection 管理 (Connection Administration)] ツリーの最上位にフォーカス	Ctrl+Alt+t	Ctrl+Alt+t	Ctrl+Alt+t	このショートカットキーは、[Unity Connection 管理 (Unity Connection Administration)] ページのツリーの最上位にフォーカスを戻すために使用されます。

項目	Internet Explorer	Mozilla Firefox	Safari/Chrome	使用方法
Unity Connection Administration でのリンク、フォームフィールドおよびウィジェットの逆順移動	Shift+TAB	Shift+TAB	Shift+TAB	このキーの組み合わせは、リンク、フォームフィールド、ウィジェットを逆順に移動するときに使用されます。
メニュー項目間の移動	左右の矢印キー	左右の矢印キー	左右の矢印キー	まず TAB または Shift+TAB を使用してメニューアイテムのいずれかにフォーカスし、それから左右の矢印キーを使用してすべてのメニュー項目に移動します。
ドロップダウンリスト項目の移動	上下の矢印キー	上下の矢印キー	上下の矢印キー	まず TAB または Shift+TAB を使用してドロップダウンリストにフォーカスし、それから上下の矢印キーを使用してリストのすべての項目に移動します。
[Unity Connection 管理 (Unity Connection Administration)] の展開と折りたたみ	ENTER キー	ENTER キー	ENTER キー	まずツリーノードにフォーカスし、それから ENTER キーを押してツリーの展開や折りたたみを実行し、すばやく移動します。

Safari で TAB キーによるハイパーアリンクへのナビゲーションを有効にする

Safari で TAB キーによるハイパーアリンクへのナビゲーションを有効にする

Safari ブラウザでは、TAB キーによるハイパーアリンクのナビゲーションができません。したがって、[Unity Connection の管理 (Unity Connection Administration)] ページでは、ツリー左端に TAB キーを介して直接アクセスすることができません。ツリーを TAB キーを介してアクセスできるようになるためには、Safari で次のブラウザ設定を変更する必要があります。

ステップ1 [環境設定 (Preferences)] > [詳細 (Advanced)] をクリックします。

ステップ2 [Tab キーを押したときに Web ページ上の各項目を強調表示 (Press tab to highlight each item on a web page)] チェックボックスを選択し、ツリー リンクを TAB キーでアクセス可能にします。

Mac で TAB キーによるハイパーアリンクへのナビゲーションを有効にする

ステップ1 Firefox ブラウザを開き、アドレスバーに「about:config」と入力します。

ステップ2 ENTER キーを押します。

ステップ3 セキュリティ警告を受け入れます。

ステップ4 設定パラメータで、リストから「accessibility.tabfocus」を探します。

ステップ5 これがリストにない場合、このパラメータを「integer」、値「7」で追加します。

ステップ6 ページを更新し、ページナビゲーションに Tab キーを使用します。

(注) 表示名の中に DTMF 番号がある場合、名前のうち DTMF ディジット後方の部分は、録音された名前として再生されません。

他の Unity Connection 機能

Unity Connection 機能には、その他に、エンドユーザーのアクセシビリティを改善する次の機能があります。

Speech Connect

Speech Connect 機能は、自動受付機能に音声対応の拡張機能を提供します。Speech Connect は音声対応ディレクトリハンドラを使用し、これによって Unity Connection ユーザと外部発信者は次の操作を行うことができます。

- オーディオテキストツリーをナビゲートすることなく、また従業員の内線番号を知らなくても、従業員（Unity Connection ユーザ）の名前を言うだけでその従業員に接続できます。
- 簡単に従業員にアクセスできるように、ユーザの電話機に Speech Connect スピードダイヤルを設定できます。
- 同じ名前の従業員が複数いる場合、または発信者が言った名前に完全に一致する名前が Speech Connect にない場合、発信者に対して複数の名前の選択肢を示し、従業員の場所や部門などの追加情報を含めることができます。Speech Connect はまた、利用できる場合に、従業員が自分の声で録音した名前を再生し、発信者が複数の名前から選択するのを容易にします。

ディレクトリハンドラの設定について詳しくは、[通話管理](#)の章を参照してください。

Cisco SpeechView

SpeechView 機能を使用すると、ボイスメッセージをテキスト形式でメールボックスに受信できるようになります。ボイスメッセージが到着すると、テキスト形式の空の添付ファイルと共に、受信者のメールボックスに格納されます。文字変換サービスによる文字変換が完了すると、文字変換テキストを使ってテキスト添付ファイルが更新されます。文字変換に問題があった場合、音声メッセージのテキスト添付ファイルとしてエラー メッセージを受け取ります。

音声メッセージの最初の 500 文字だけが文字変換され、残りのメッセージは切り捨てられます。ただし、元の録音については、ユーザはその全体にアクセスできます。

SpeechView は、統合メッセージングソリューションの 1 つの機能です。したがって、各音声メッセージの元のオーディオバージョンはいつでも利用可能です。

TTY の概要

TTYプロンプトセット（米国英語（ENX）でのみ入手可能）をインストールして、サポートされている他の電話言語と同じように使用することができます。TTYプロンプトセットがインストールされると、TTYを使用するサブスクライバおよび外部の発信者はUnity Connectionに発信して、音声を聞く発信者が使用できる機能と同じ機能を使用できます。ただし、次の制限事項に注意してください。

- Unity Connection の TTY プロンプト セットは G.729a や他のメッセージ録音/格納コードとの互換性がないため、G.711 MuLaw がメッセージ録音/格納コーデックとして選択される必要があります。

- 外部の発信者による使用向けに、専用の電話番号を設定する必要があります。この番号からアクセスできる、すべてのグリーティング、プロンプト、およびユーザ名は、TTYプロンプトセットを使用して作成されている必要があります。
- TTY は TUI 言語専用です。現在、TTY には互換性のあるテキスト/スピーチ (TTS) 言語がありません。また、TTY プロンプト セットは GUI 言語としても適していません。
- TTY トーンは、Unity Connection カンバセーション全体のナビゲートでの使用には利用できません。一部のTTY電話機には、DTMF トーンを送信する機能がありません。この場合は、TTYユーザがシステムナビゲーションに電話機のキーパッドを使用することが必要となることがあります。
- 録音/再生の制限により、TTY プロンプト セットはインタビューハンドラ内で使用できません。
- TTY 電話機は音声名を表示せず、単純に音声名を再生します。
- 音声名をテキストで表示し、Unity Connection 内で置き換えるには、TTY Angel を使用します。TTY Angel の詳細については、TTY Angel のヘルプ (<http://www.ciscounitytools.com/Applications/General/TTYAngel/TTYAngel.html>) を参照してください。
- ipTTY デバイスを使用して会話の品質を向上させるには、Cisco Unity Connection Administration 上でコンフォートノイズを無効にすることを推奨します。コンフォートノイズを無効にするには、[システム設定 (System Settings)]>[詳細設定 (Advanced)]>[テレフォニー (Telephony)]に移動し、[VAD 有効 (Vad Enabled)] チェックボックスをオフにします。ipTTY デバイスの使用方法については、『*ipTTY Configuration Guide for Cisco UCM 9.x*』 (https://docs.google.com/document/d/1CmS0aTN7hIFqlZ_PvjKqTlhgK5xV8IPNTmi8cgsbn6w/edit?pref=2&pli=1) を参照してください。

TTY プロンプトセットを使用するための Cisco Unity Connection の設定

TTY 用に Unity Connection を設定するには、次のタスクを実行します。

-
- ステップ1** TTY を使用して Unity Connection に発信する外部の発信者だけが使用する、ダイヤルイン番号を取得します。必要に応じて、電話システムと電話システム連動を設定します。
 - ステップ2** 必要に応じて、ユーザの TTY デバイスをインストールします。
 - ステップ3** Unity Connection サーバに ENX 言語をインストールします。
 - ステップ4** Unity Connection メッセージ録音/格納コードとして、[G.711 (標準) (G.711)] が選択されていることを確認します。
 - ステップ5** TTY ユーザテンプレートを作成します。このテンプレートは、TTY を使用するすべてのユーザのユーザアカウントを作成する場合に使用されます。また、これらのユーザに対してテキスト/スピーチを無効にする TTY サービスクラスを作成する場合もあります。
 - ステップ6** TTY ダイヤルイン番号のルーティングルールを作成します。
 - ステップ7** TTY ダイヤルイン番号のガイダンスのコールハンドラを作成します。
 - ステップ8** 必要に応じて、追加の TTY コールハンドラを設定します。
 - ステップ9** TTY Angel を使用して、または Media Player と TTY 電話機を録音/再生デバイスとして使用して、TTY でグリーティングを録音します。ガイダンス、追加のコールハンドラのグリーディング、およびユーザのグリーディングのうち、該当するグリーディングを録音することが必要となります。
 - ステップ10** TTY ダイヤルイン番号、ガイダンス、コールハンドラ、およびすべてのユーザのデバイスをテストし、発信 TTY コールと着信 TTY コールの両方が正しく操作されることを確認します。
-

